

外国語活動のための充実した空間

外国語活動のための専用空間



1 富山市立中央小学校の外国語教室

校長の視点から

本校では小学校ではめずらしい外国語教室を設けています。外国語のための教室なので、児童の興味を外国語へ向けさせるのに大いに役立っています。

外国語活動では体を動かす学習方法が多いため、スペースを確保するために机は使用せず、イスは壁際に重ねて必要に応じて用いるようにしています。また、床がカーペット敷きになっているため、床に座りながら授業が行えますので、児童はリラックスしながらALTとの会話ができています。(写真1)

(富山市立中央小学校)

外国語活動のための他用途と併用した空間



2 多摩市立多摩第一小学校 多目的ホール

小学校の外国語教育では、会話や音声を用いた学習に重点を置くことが重要です。多目的ホールはプロジェクターや音響設備が充実しており、音声や映像を多用した英語教材を最大限利用できるため、外国語の授業に大いに活用しています。他の授業に支障がないよう遮音性能や室の配置には配慮されており、十分な広さの中で音声や映像に合わせて体を動かす学習にも十分対応できています。(写真2)

(多摩市立多摩第一小学校)



3 静岡市立清水庵原小学校 外国語活動室



現在使用していない普通教室を外国語活動室として利用しています。教室後方の児童用ロッカーは、児童がいつでも使える英語教材コーナーとして活用し、掲示版には児童が興味を持つようなカラフルな英語学習用のポスターを貼り、教室前には国旗を飾るなどして外国語への親しみや興味が湧くような雰囲気づくりをしています。(写真3) (静岡市立清水庵原小学校)

〈設計者の視点から〉

●多様な学習活動への対応の観点から

体を動かしての学習や、床に座っての活動などに対応するため、広い面積を確保したり、カーペットを床に敷くなど、外国語活動の多様な活動を考慮した空間を確保しています。

(写真1)

●音環境への配慮

外国語教育での会話や音声を用いた学習に配慮して、吸音材を用いたり、教室の配置を工夫するなど、遮音性等に考慮した計画となっています。

(富山市立中央小学校)

(設計/日総建+富山建築研究所)